

KANEFUSA

2018年3月期第2四半期決算 および中期経営計画の現況

(2017年度～2019年度)

2017年 12月 5日

兼房株式会社

ホームページ URL <http://www.kanefusa.co.jp>
お問い合わせ先 執行役員 経営管理部長 佐築賢治
電話番号 0587-95-2821

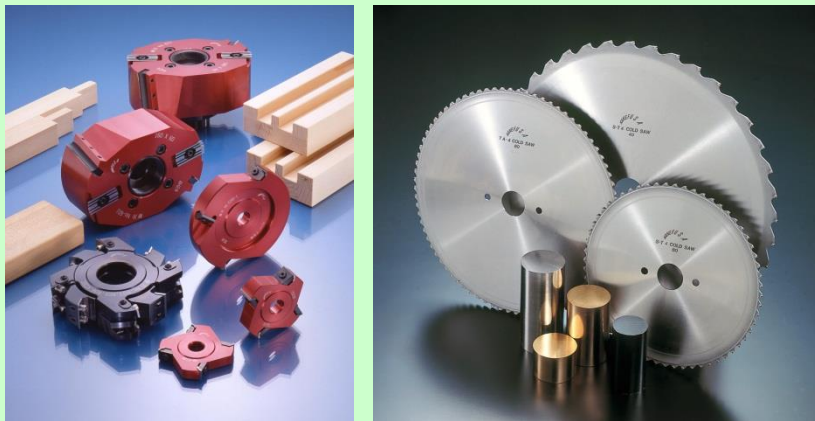
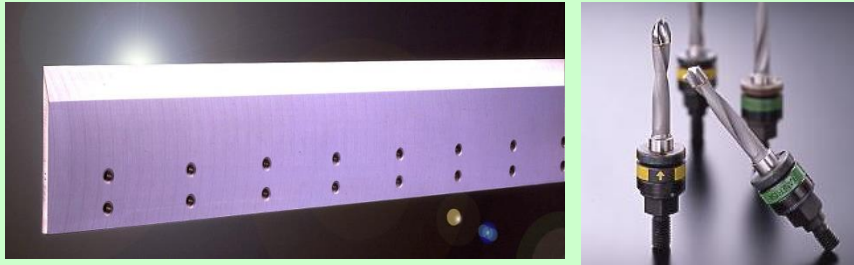
【説明内容】

・ 会社の概要

- ・ 2018年3月期第2四半期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況（2017年度～19年度）

会社の概要

工業用機械刃物総合メーカー



■ 設立 1948年11月
《創業1896年（明治29年）》

■ 所在地 愛知県丹羽郡大口町

■ 資本金 21億4,250万円
(1995年4月名証二部上場)
(2006年3月東証二部上場)

		単 独	連結子会社
■ 従業員数	正社員	566名	590名
	パート	154名	82名
	合 計	720名	672名

■ 事業所 本社・工場 国内8販売拠点

■ 子会社 9社 うち海外子会社8社

沿 革

海外進出の沿革

1896年	名古屋市中川区に鍛冶業を創業		
1937年	名古屋市熱田区に兼房刃物工業有限会社設立		
1947年	東京出張所を開設	1986年	インドネシアに「PT.カネフサインドネシア」設立
1948年	兼房刃物工業株式会社に改組	1996年	PT.カネフサインドネシア新工場建設
1949年	大阪出張所を開設	1999年	アメリカに販売子会社「カネフサUSA,INC.」設立
1959年	日本の機械刃物メーカーで初めて高周波熱処理装置を完成	2001年	オランダに販売子会社「カネフサヨーロッパB.V.」設立
1964年	大口工場第一期工事完成	2002年	中国に生産子会社「昆山兼房高科技刀具有限公司」設立
1968年	兼房刃物販売株式会社を設立	2009年	インドに販売子会社「カネフサインディアPvt.Ltd.」設立
1972年	大口工場にチップソー工場建設	2010年	ブラジルに販売子会社「カネフサドブラジルLTDA.」設立
1982年	大口工場にコールドソー工場建設	2012年	中国に「天津分公司」設立
1985年	本社機構を大口工場に移管		カネフサUSA,INC新社屋設立、移転
1986年	ダイヤモンド刃物、カッターブロックの高精度製品の専門工場を建設	2013年	中国に「佛山分公司」設立
1990年	工業、販売を合併。社名を兼房株式会社に変更		メキシコに販売子会社「カネフサメキシコス.A. DE C.V.」設立
1995年	名古屋証券取引所第二部へ上場	2015年	インドに「ブネオフィス」設立
1996年	テクニカルセンターを新設		PT.カネフサインドネシア第2工場建設
1999年	ISO9001認証取得		アメリカに「アトランタオフィス」設立
2003年	ISO14001認証取得		ロシアに「モスクワオフィス」設立
2006年	東京証券取引所第二部へ上場	2016年	ベトナムに販売子会社「カネフサベトナムCo., LTD.」設立
2008年	名古屋支社を名古屋市熱田区内で新築移転、中部支社へ改称		
2009年	東京支社と前橋出張所を統合し、さいたま市へ新築移転、関東支社へ改称		
2012年	徳島出張所を香川県高松市に移転、高松営業所へ改称		
2015年	大口工場に第3精密工場建設		

海外子会社



カネフサヨーロッパ B.V.
＜販売＞
設 立：2001年4月
従業員数：15名



昆山兼房高科技刀具有限公司
＜生産＞＜販売＞
設 立：2002年9月
従業員数：219名



カネフサUSA,INC.
＜販売＞
設 立：1999年5月
従業員数：13名



カネフサメキシコS.A. DE C.V.
＜販売＞
設 立：2013年12月
従業員数：7名



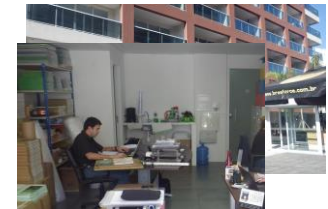
カネフサインド Pвт.Ltd.
＜販売＞
設 立：2009年8月
従業員数：11名



PT.カネフサインドネシア
＜生産＞＜販売＞
設 立：1986年7月
従業員数：401名



カネフサベトナムCo., LTD.
＜販売＞
設 立：2016年4月
従業員数：6名



カネフサ ブラジルLTDA.
＜販売＞
設 立：2010年1月
従業員数：11名

事業内容

工業用機械刃物の製造・販売

工業用機械刃物は、木材・紙・金属等を切断・加工する機械に装着して使用される
〈消耗工具〉に該当します。

主要ユーザー

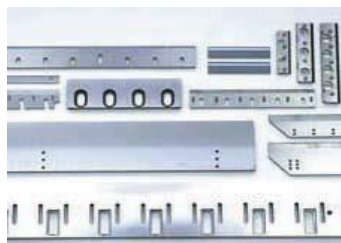
- ・住宅関連産業（ハウス、合板、建材、プレカット、外壁材、電動工具、キッチン、家具等の各メーカー）
 - ・金属関連産業（鉄鋼、非鉄、自動車・部品等の各メーカー）
 - ・製紙・製本紙工関連産業（製紙等の各メーカー、印刷・製本会社）
 - ・IT関連産業（電子部品等の各メーカー）
- その他、環境関連、包装機械、合成樹脂加工会社など
多業種にわたる。



主要製品

平刃類

形状が平らになっているもので、合板用刃物、電動工具の電気鉋刃、製本紙工用刃物、IT関連刃物等があります。



精密刃具類

溝つき・繋ぎ合わせ・穴あけ加工・成型等をする工具で、カッター・エンドミル・リーマなどと呼ばれます。被削材には木質系、窯業系建材、樹脂、非鉄金属等があります。



丸鋸類

円板状で外周部に刃がついており、切断・粉碎をする工具。被削材には木質系等を切断するチップソーや、各種金属を切断するコールドソーがあります。



製品一例



住宅関連産業向け
ベニヤナイフ



印刷・製本関連向け
断裁包丁



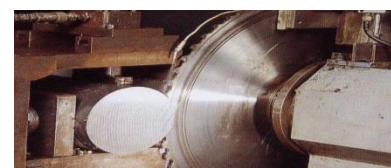
住宅関連産業向け
仕口カッター



合成樹脂加工向け
エンドミル



住宅関連産業向け
チップソー



金属関連産業向け
コールドソー

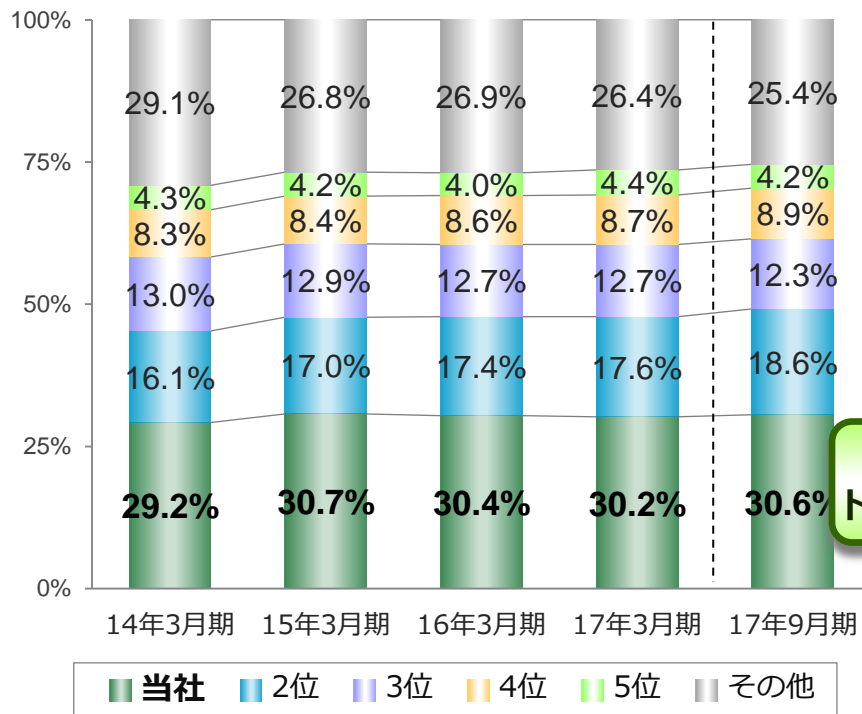
ユーザーニーズに合わせ、製品数は300種3万点

マーケット規模と当社シェア

1. 日本機械鋸・刃物工業会（22社） 売上高ベースでのシェア

総売上高(輸出含む)

計500億円 計506億円 計497億円 計483億円 計252億円

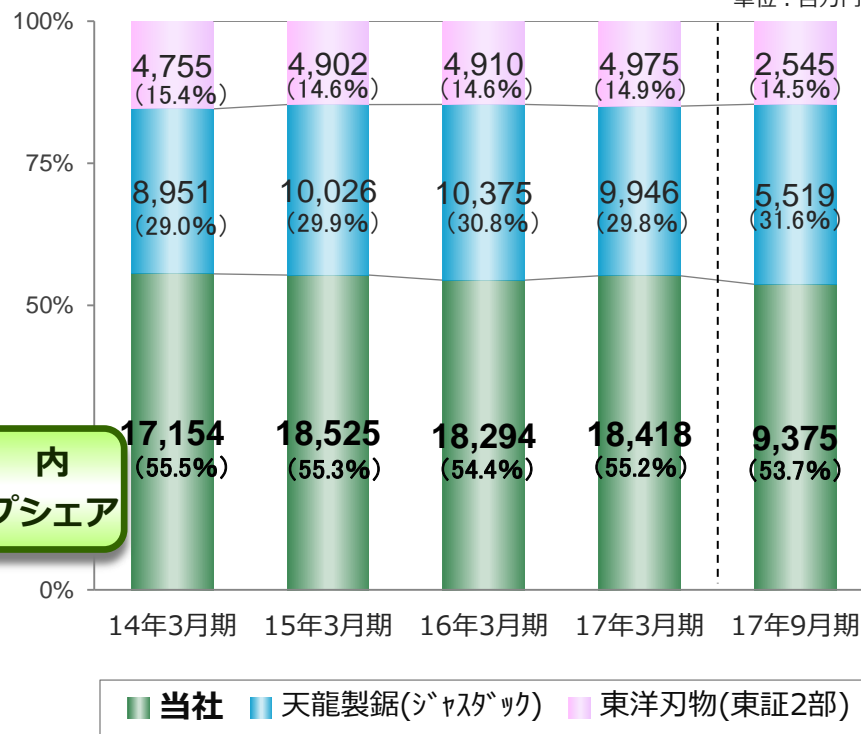


(加盟企業のみを集計でアウトサイダーの売上高を含まず)

2. 業界株式公開会社3社の 連結売上高ベースでのシェア

計308億円 計334億円 計335億円 計333億円 計174億円

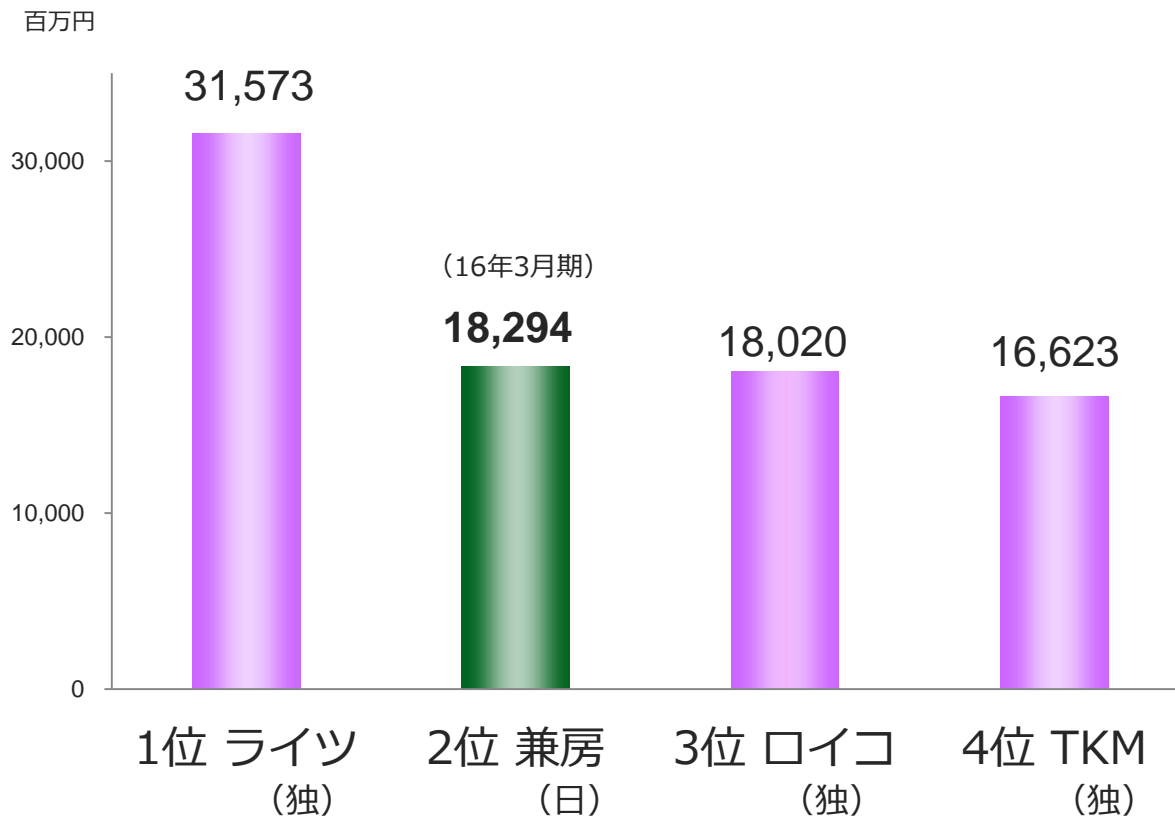
単位：百万円



国内
トップシェア

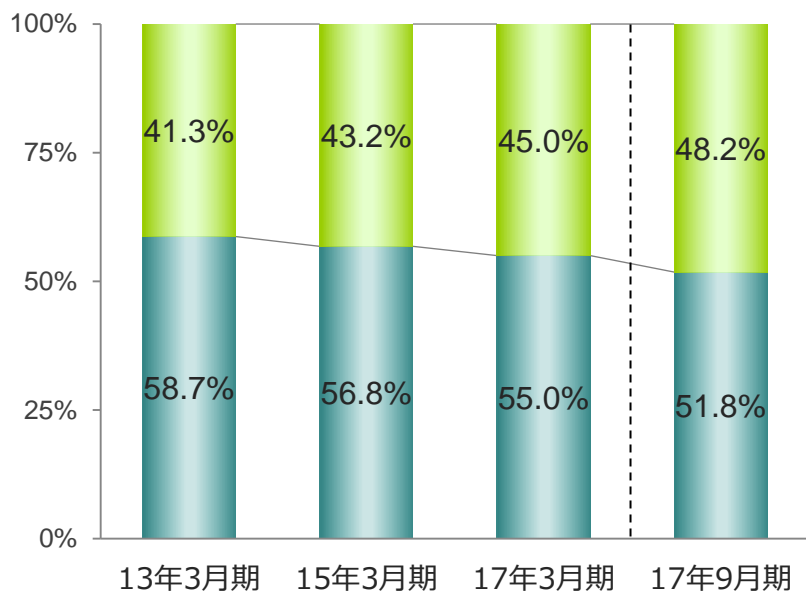
マーケット規模と当社シェア

3. グローバルで見た当社の位置づけ 世界の機械刃物製造企業トップ4社 売上高比較（2015年度）



売上高構成比

業種別



■ 住宅関連

■ 非住宅関連

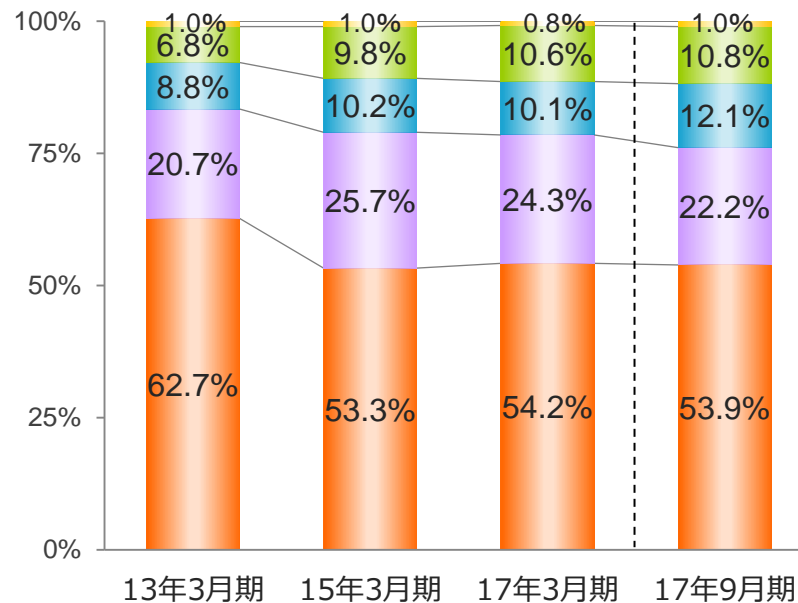
・住宅関連

ハウス、建材、サッシ、キッチン、家具、合板、電動工具メーカー等

・非住宅関連

鉄鋼、非鉄、自動車関連産業等、製紙メーカー、印刷・製本産業、化成製品、IT、環境関連産業、包装機械メーカー等

地域別



■ 国内

■ アジア

■ ヨーロッパ

■ アメリカ

■ その他

・アジア

インドネシア、中国、韓国、マレーシア等

・ヨーロッパ

ドイツ、スウェーデン、ロシア、イギリス等

・アメリカ

米国、チリ、メキシコ、ブラジル、カナダ等

・その他

ニュージーランド、オーストラリア等

＜過去＞ 国内の住宅関連売上に依存

→ ＜現在＞ 一つの業種、地域に偏らない売上高構成を目指す

【説明内容】

- ・ 会社の概要
- ・ 2018年3月期第2四半期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況（2017年度～19年度）

2018年3月期第2四半期決算（連結）

1. 損益計算書

単位：百万円

	17年3月期 第2四半期 実績	18年3月期 第2四半期 実績	増減額	増減率	5月11日時点 予想
売上高	8,605	9,375	770	8.9%	9,130
売上原価 (売上高比率)	6,012 (69.9%)	6,233 (66.5%)	[1] 220	3.7%	6,250 (68.5%)
売上総利益 (売上高比率)	2,592 (30.1%)	3,141 (33.5%)	548	21.2%	2,880 (31.5%)
販管費	2,150	2,310	[2] 159	7.4%	2,330
営業利益 (売上高比率)	442 (5.1%)	831 (8.9%)	389	88.0%	550 (6.0%)
営業外収益	22	50	[3] 28	127.4%	20
営業外費用	257	28	▲229	▲89.1	30
経常利益 (売上高比率)	206 (2.4%)	853 (9.1%)	647	313.5%	540 (5.9%)
特別利益	0	0	0	▲35.5%	-
特別損失	6	1	▲4	▲71.2%	-
税金等調整前 当期純利益	200	852	652	325.3%	540
当期純利益 (売上高比率)	63 (0.7%)	602 (6.4%)	539	848.9%	360 (3.9%)

国内・海外とも売上が増加し、
為替による押し上げ効果もあり、
前年同期比 増収増益

<増減額の主な内訳>

[1] 売上原価
原価率 69.9%→66.5%
3.4ポイント改善

[2] 販管費

手数料	72
人件費	67
賃借料	10
租税公課	9

[3] 営業外収益・費用

為替差益	+ 19
為替差損	▲235

2. 貸借対照表

単位：百万円

		17年3月期 (3月31日)	18年3月期 (9月30日)	増減額
流動資産	現金及び預金	3,563	4,436	873
	受取手形 及び売掛金	4,887	4,990	102
	たな卸資産	4,320	4,253 [1]	▲ 66
	その他	438	391	▲ 46
	小計	13,209	14,071	862
固定資産	有形固定資産	11,549	11,388 [2]	▲ 160
	無形固定資産	433	465	31
	投資その他の 資産	1,136	1,281 [3]	145
	小計	13,119	13,135	16
資産の部計		26,329	27,207	878

単位：百万円

		17年3月期 (3月31日)	18年3月期 (9月30日)	増減額
流動負債	支払手形 及び買掛金	1,714	2,009	295
	未払金	759	845	85
	その他	935	1,047 [4]	112
	小計	3,409	3,902	493
固定負債	退職給付に 係る負債	291	285	▲ 6
	その他	561	624	62
	小計	853	910	56
純資産の部	資本金	2,142	2,142	-
	資本剰余金	2,167	2,167	-
	利益剰余金他	16,832	17,261	429
	評価・換算 差額等	922	822	▲ 99
	小計	22,065	22,395	329
負債・純資産の部計		26,329	27,207	878

<増減額の主な内訳>

[1] たな卸資産	
仕掛品	57
原材料及び貯蔵品	▲116
[2] 有形固定資産	
建物及び構築物	▲136
機械装置及び運搬具	▲181
建設仮勘定	168
[3] 投資その他の資産	
投資有価証券	146
[4] 流動負債－その他	
未払費用	46
預り金	30
設備購入支払手形	48

3. キャッシュフロー

単位：百万円

	17年3月期 第2四半期 実績	18年3月期 第2四半期 実績
	営業活動による キャッシュ・フロー	822
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 1,248	▲ 597
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 104	▲ 174
現金及び現金同等物 期末残高	2,436	4,429

<投資活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳>

	2017年 3月期 第2四半期	2018年 3月期 第2四半期
有形固定資産取得支出	▲1,216	▲552
無形固定資産取得支出	▲11	▲32
関係会社出資金払込支出	▲41	—

4. 設備投資額・減価償却費等

単位：百万円

	16年3月期 第2四半期		17年3月期 第2四半期		18年3月期 第2四半期	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	1,259	789	731	685	728	657
減価償却費	674	410	736	513	756	519
研究開発費	143	113	131	125	128	128

【説明内容】

- ・ 会社の概要
- ・ 2018年3月期第2四半期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況 (2017年度～19年度)

中期経営計画

1. 新中期経営計画の位置づけ・中期ビジョン

前中期経営計画
(2014~16年度)

“世界トップメーカー
への飛躍と責務”

新中期経営計画
(2017~2019年度)

“世界ダントツ刃物メーカーへの躍進”

兼房グループ売上高200億円を目指し、
品質・スピード・人財において、
業界ダントツNo.1のレベルを確立する。

【中期ビジョン】

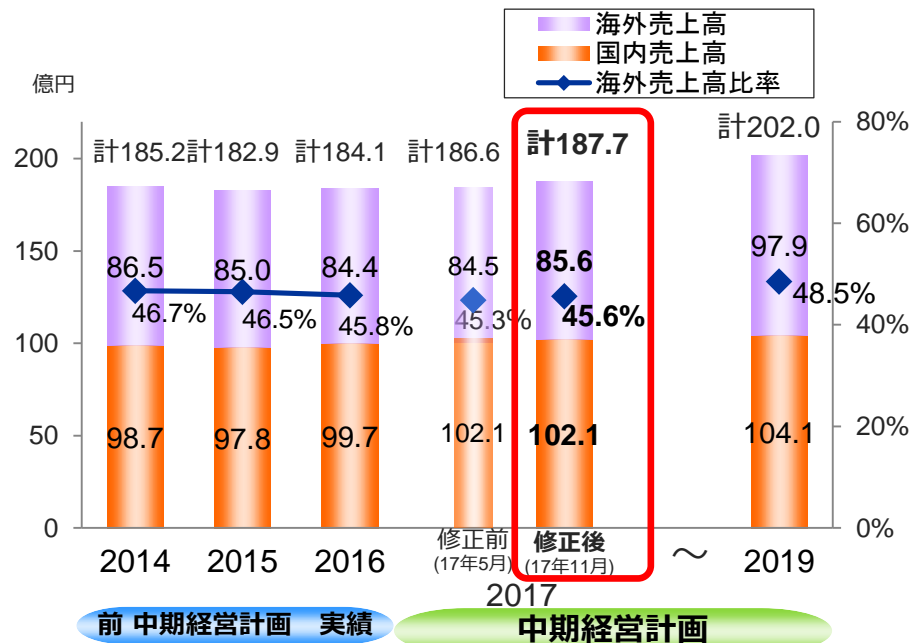
2019年度 連結

売上高	200億円以上
営業利益率	10%以上

中期経営計画

2. 売上高・利益目標

売上高



営業利益・当期純利益

